

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

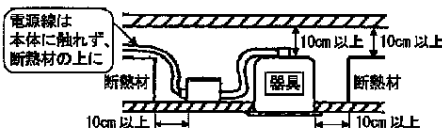
⚠ 危険

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。
火災の原因となります。

- ・住宅の断熱施工天井には、使用できません。

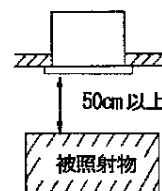


器具は断熱材・防音材・造営材等と
下記のような空間を設けて施工してください



⚠ 警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線などの設備に触れないように施工する。
火災の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取り付けや天井直づけ及び傾斜天井への取り付けはしない。火災・落下の原因となります。
- 専用ダウントランス（別売）が必要です。
必ず適合ダウントランスを使用する。火災の原因となります。
- 器具と被照射面は50cm以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。
- 器具表示及び取扱説明書にしたがって、指定されたランプを使用する。
指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。



⚠ 注意

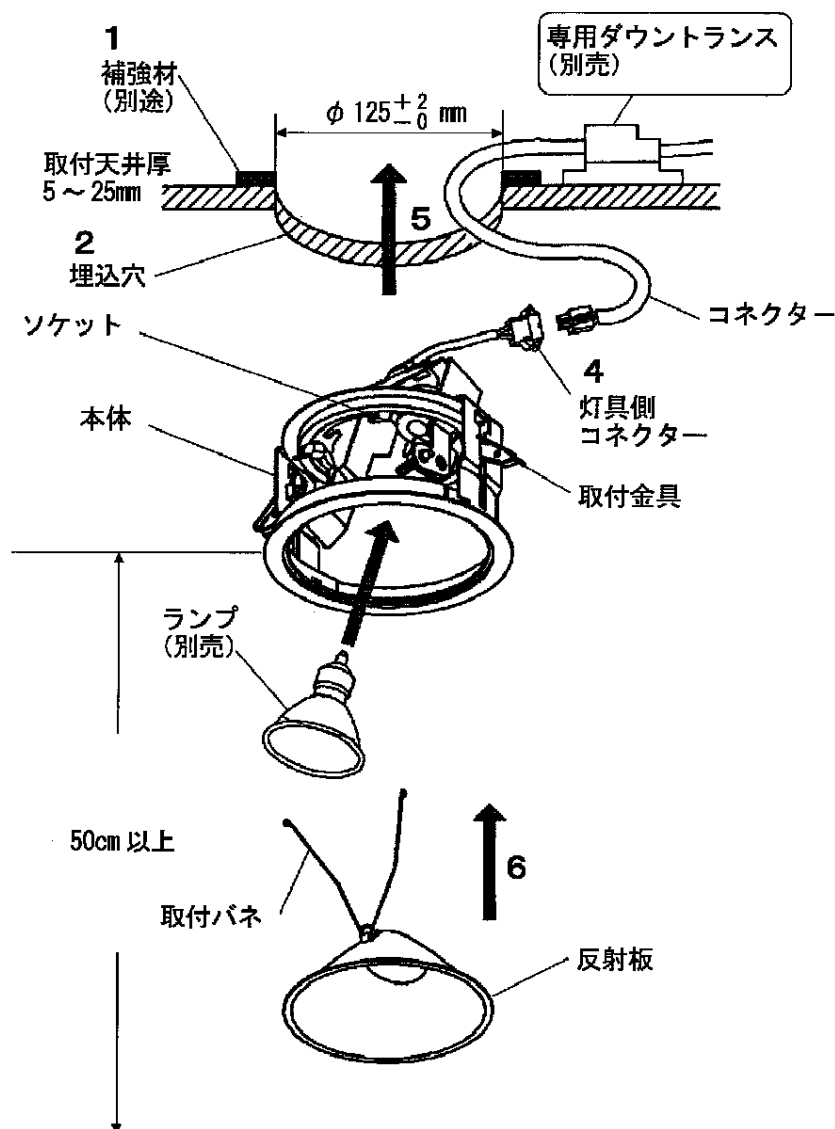
- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、水気の多い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。
- 軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。
火災・感電・落下・サビ・反射板の変色およびはがれの原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃以外では使用しない。火災またはランプ短寿命の原因となります。
- 振動のある場所では使用しない。火災・感電・落下・取り付け面のスキマおよび変形の原因となります。

施工上のご注意

- 取り付け面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取りつけてください。
サビや変色の原因となります。
- 音響セットやアンテナ、アース線と1m以上離してください。誤動作・雑音の原因となります。

各部のなまえと取り付け方

ロックウール等の柔らかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取りつける場合は、必ず取付金具と天井の間に補強材（鉄板・木片等）を入れる。
補強材のない場合、光モレの原因となります。



これは一部簡略化した図です。



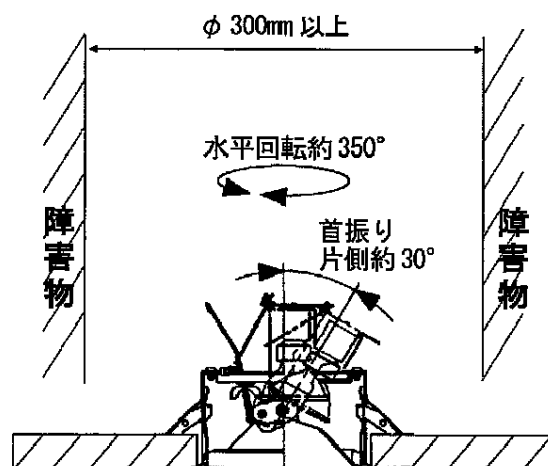
警告

照射物・照射面との距離は50cm以上離す。
被照射物の火災・変色の原因となります。

＜照射可能範囲＞

6

（障害物があると可動範囲が満足できません。）



1. 取り付け前の確認をする

- ・ 器具質量（約0.5kg）に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。

不備がありますと器具落下の原因となります。

2. 天井に $\phi 125 \pm \frac{2}{0}$ mmの埋込穴をあける

3. ランプ(別売)を確実に取りつける

- ・ ランプをソケットに最後まで確実にねじ込む。

ランプのねじ込みが不十分な場合、
落下・故障の原因となります。

4. コネクターを接続する

- ・ 専用ダウントランス（別売）と
灯具側のコネクターを確実に
差し込む。
- ・ 必ず適合する専用ダウントランス
を使用する。
- ・ リード線を切断したり、
別のリード線で延長しない。

不備がありますと
火災・感電の原因となります。

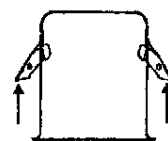
4

ツメが掛かっていること

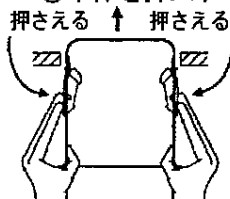
灯具側コネクター

5

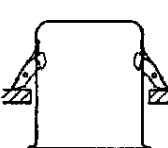
①上の位置へ



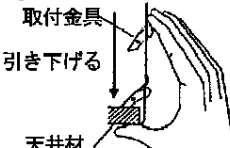
②本体を挿入する



③仮止め状態

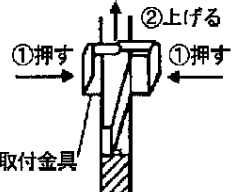


④取付金具を引き下げる



天井材

はずす方法
(器具の方向調整の場合)



片側ずつ押して取付金具を
はずす。
はずれる時はカチッと
音がします。

5. 本体を取りつける

- ①取付金具を本体上部にとどめておく。
- ②取付金具を内側に押えながら、天井に挿入する。
- ③仮止め状態とする。
- ④取付金具を引き下げて、本体を確実に固定する。

不備がありますと落下の原因となります。

6. 照射方向を調節する

- 注) ・ 水平回転及び首振り調整部は工場出荷時にロックされていますので
蝶ボルト（水平回転固定用・首振り角度固定用）をゆるめてから
調整する。(照射可能範囲は左記6参照)
- ・ 点灯中は高温となり、やけどの原因となりますので
手袋等を使用の上、調整する。
 - ・ 点灯直後に調整を行なう。

1. 水平回転及び首振り方向を調整する。
注) ・ 回転範囲以上無理に回転させない。
・ 灯具は片側方向にしか傾きません。

2. 蝶ボルト（水平回転固定用・首振り角度固定用）を
確実に締めつける。

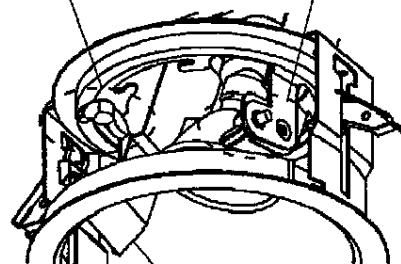
7. 反射板を取りつける

- ①取付バネを押し縮め、バネ受け部に引っ掛ける。
- ②枠と反射板のツバ部を合わせ、静かに最後まで押し上げる。

6

蝶ボルト
(水平回転固定用)

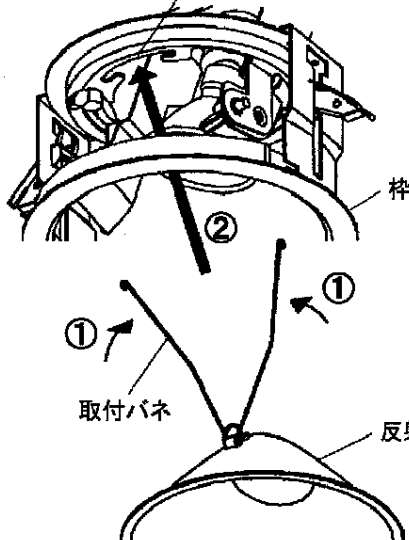
蝶ボルト
(首振り角度固定用)



操作レバー部

7

バネ受け部



取付バネ

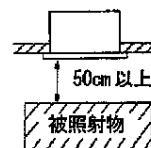
反射板

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具の改造および構成部品（ソケットなど）の交換をしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 器具と被照射物の距離は、50 cm 以上離す。被照射物の火災・変色の原因となります。



⚠ 注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。
・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。

保証について

- 保証について この商品の保証期間は1年間です。但し、安定器は3年間です。
ランプ・グロー点灯管・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 補修用性能部品の保有期間 弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・ランプ交換 ⚠ 注意 必ず電源を切って行なってください。感電・やけどの原因となります。

- <器具の清掃について> ・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取り
メガネ拭きで仕上げてください。
・乾拭きはメガネ拭きで行なってください。
反射板内面に傷が付くことがあります。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損および反射板のはがれの原因となります。



- <ランプ交換について> ・器具表示にしたがって、下記の指定されたパナソニック製ランプを使用してください。
・反射板を、取りはずしてから行なってください。（裏面6参照）
・ランプをソケットに最後まで確実にねじ込んでください。
ランプのねじ込みが不十分な場合、落下の原因となります。

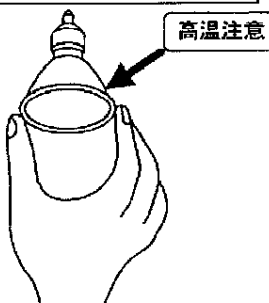
⚠ 警告 指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ

φ50ダイクール電球 12V50Wまで
(EZ10口金)

⚠ 注意

点灯中や消灯直後はランプやその周りに
さわらないこと。
やけどの原因となります。



照射方向の調節について

- ・点灯直後に反射板を取りはずして調整を行う。
（調整方法については裏面6参照）

